

# 岡田宮

(宝永4年) 1707年 貝原益軒書

## 第48号

平成21年11月吉日

発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063

北九州市八幡西区岡田町1番1号

電話 (093) 621-1898

FAX (093) 621-5330

ホームページ <http://www.okadagu.jp/>

Eメール [okadajinja@jcom.ne.jp](mailto:okadajinja@jcom.ne.jp)

## 日本人と神社

あれっ、こんなところに神社が……。

通勤や通学、旅行などの途中でそんな発見をした経験はありませんか。

街中の赤い鳥居、田んぼの中のこんもりした森、山の頂の小さな祠……

全国至るところに神社はあります。

神社のある風景、それはごく身近な、

しかし日本にしか見られない独特の風景です。

神社は、街角の小さな祠まで含めると、数えきれないくらいあります。

では、なぜ日本各地に、このようにたくさんの神社が鎮座しているのでしょうか。

それは、農業を中心に暮らしを営んできた日本人の生活に深く関わっています。

大自然の力は、四季を通じて人間に恵みを与える一方、猛威もふるいます。

はるか昔、そんな大自然の力に神々の働きを感知した日本人は、

集落ごとに神社を建てました。

そして、春には豊作を、夏には風雨の害が少ないことを

祈り、秋には収穫を感謝するなど、季節ごとにさまざまな

祭りを行ってきました。

やがて神社は、日本人の生活全般に関わるようになり、

一生を通じて節目節目に神社に参拝し、子供の成長や

家族の無事、また家の安全などを祈るようになりました。

時代は移り、世の中も変わりましたが、

神社は日本人の暮らしの中になくってはならない存在

として生き続けているのです。



### 目次

日本人と神社	1
第十五回 岡田神社書道展	2
郷土地名考 48	2
神社なぜなぜ問答 48	3

年末年始の行事案内	4
平成22年度 算賀の年祝	4
平成22年の厄年	4

第十五回 岡田神社書道展

会期 平成21年7月23日(木)~29日(水)

表彰式 平成21年7月29日(水)

総出品点数 791点



岡田宮賞

- 小1 上田花恋
- 小2 彌勒暉仁
- 小3 櫻井里美
- 小4 吉原穂南
- 小5 福島もも子
- 小6 井口 瞳
- 中1 茂司亜梨紗
- 中2 矢野朱紀穂

総代会長賞

- 小2 高村陽笑
- 小3 大瀧綺奈
- 小4 兵頭 茜
- 小5 手嶋結香
- 小6 古賀尚人
- 中1 原田佳織
- 中2 川原実沙希
- 中3 安藤佳織

特選

- 小1 彌勒真緒
- 幸 愛美
- 幼 富永弘大
- 小2 井上亜美
- 永野瑞季
- 鞍成琴音
- 北川楓弥
- 世良愛菜
- 小島綾菜
- 豊岡愛理
- 寺野理湖
- 納多由紀乃
- 有松希恵
- 桑田陽菜

小3 梁井恵太

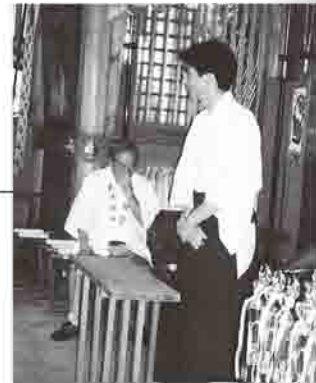
- 河村 温
- 安倍幸星
- 後藤 健
- 平島優花
- 川原悠里
- 岩本美蘭
- 中村麻梨奈
- 酒見奈央
- 岩佐こはる
- 古橋郁子
- 高村凜太郎
- 越智未夢
- 井上優実
- 東未奈
- 馬場 渚
- 富永 葵
- 立山陽菜
- 真鍋勝衣
- 富永海帆
- 市川潮音
- 小田洋代
- 小川明莉
- 兵頭賢明
- 福岡瑚都

小5 千々和美紅

- 吉田理子
- 梅崎彩華
- 皇甫萌
- 御手洗彩香
- 久保創大
- 森山美優
- 豊岡玲那人
- 山下 滂
- 富永絵里香
- 田中瑛梨
- 中尾磨由子
- 池田由依
- 岩元理歩
- 青木なぎさ
- 川副 櫻
- 矢野志帆理
- 豊島直弥

小6 御手洗雄斗

- 吉田大祥
- 新井麻佑
- 守田 栞
- 松田瑞季
- 宮川望夏
- 讚井直之
- 大友麻衣
- 木下智恵
- 赤宗みゆき
- 酒井真由
- 中村はるな
- 泉田理沙
- 宮崎穂菜美
- 近藤果結
- 楠本祐美
- 讚井志織
- 蘭田采依



郷土地名考 49

遠賀の地名

— 岡・塙・岡・遠賀 —

遠賀・御牧

遠賀は、かつて「古事記」(七二二年)に岡、「筑前風土記」(七二三年)の塙、日本書紀(七二〇年)に、岡・岡、「万葉集」(七五三年)に岡、「続日本記」(七九二年)に遠珂、「延喜式」(九二七年)に遠賀、「和名抄」(九三〇年頃)にも遠賀とあり、郷は埴生・恒前・宗像・内浦・木夜・山鹿の六郷がみえ、古い文献にも既にこの地名を見ることが出来る。国・郡制整備の中で岡から遠賀に改められた(二字にきめられた)のは和銅六年(七一三年)頃で、遠賀はのちの室町時代初期頃から御牧郡といわれたが江戸の寛文四年(一六六四年)には幕命で遠賀郡名に復された。

# 神社 なぜ 問 答

(その48)



## 地鎮祭について

### 教えてください。

地鎮祭(じちんさい)とは、建物の新築や土木工事の起工の際などに、その土地の神様を祀(まつ)り、工事の無事進行・完了と土地・建造物が未長く安全堅固であることを祈願するために、おこなわれる祭りです。

一般には「じまつり」などとも呼ばれ、国土の守護神である大地主神(おおとこぬしのかみ)と、その地域の神様である産土神(うぶすなの

かみ)、またその土地の神々である「此の地を宇志波伎坐(うしはきます)大神等」をお祀りします。

地鎮祭は地域によりお祭りの仕方が異なる場合がありますが、基本的な祭儀の流れは神社の祭儀とほぼ同様です。その中でも特徴的なこととして三つの行事がおこなわれます。

一つは祓(はらい)の行事であり、四方祓(しほうはらい)の儀と称して、祭場四方の敷地を大麻で祓つたり、半紙と麻を切つて作った切麻(きりぬさ)などを撒き、祓い清めます。

二つ目は起工の行事であり、刈初(かりぞめ)の儀・穿初(うがちぞめ)の儀と称して、施主・施工者が忌録(いみかま)・忌歛(いみくわ)・忌鋤(いみすき)などにより、草を刈り、地を穿つ(掘る)所作をおこない、神様に工事の開始を奉告します。

三つ目は供物の行事であり、鎮物(しずめもの)埋納の儀と称して、神霊を和め鎮めるために鎮物の品を捧げて、工事の無事安全を祈念します。

土地の、神々に敬意をほらい、

使用の許しを得て、工事の安全と生活の平安を祈願するという祭りの意味は、まさに日本人の生活習慣における伝統や信仰に基づいたものといえます。



## 編集部より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。神社本庁教学研究部の協力でお答えします。

ご質問は紙面の都合上、基本的な質問に限らせていただきます。質問者の氏名等は掲載いたしません。お名前、ご連絡先は忘れずにお願います。

# 有川 写真館

八幡西区岡田町1-44-3F TEL 0120-62-2080  
本店を黒崎鎮守の森 岡田宮鳥居横 尾畑ビル3階に移転いたしました

## 周田宮スタジオ(境内)

0120-620-753

### 神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真1枚込み) 98,250~

宮参り・七五三・入園・入学など  
(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

## レンタルお出かけ衣装

1着 ￥5,000~ (お子様に限りです)

## 撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥21,000
四切	3ポーズ	3枚	……	¥27,000

# 年末年始の行事案内

## ●大祓

十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を三度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

## ●どんど焼祭

一月十七日(日)

古くなったメ縄、門松等を焼納する神事。

地元の有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

## ●歳日(祭)

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願いする神事。

午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

## ●開運福引き

一月一日〜三日

一枚五百円でハズレなし。  
一等は羽根ぶとんなどが当たります。  
新年の運だめしにどうぞ。

## ●特別祈願祭

一月一日〜七日

新しい年を迎え、家内安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。



## ●成人奉告祭

一月十一日

新成人のお祓いをします。

平成二十二年

## 算賀の年祝

(年齢は数え年)

還暦	六十才	昭和二十五年生
古稀	七十才	昭和十六年生
喜寿	七十七才	昭和九年生
傘寿	八十才	昭和六年生
米寿	八十八才	大正十二年生
卒寿	九十才	大正十年生
白寿	九十九才	明治四十五年生

## ●人形供養祭

日頃かわいがっていた人形・ぬいぐるみ等、お祓いして供養します。

初穂料・ミカン箱一箱 五千円



平成二十二年の厄年

(年齢は数え年)

### 厄年(男)

二十四才	前厄	昭和六十二年生
二十五才	大厄	六十一年生
二十六才	後厄	六十年生
四十一才	前厄	四十五年生
四十二才	大厄	四十四年生
四十三才	後厄	四十三年生
六十才	前厄	二十六年生
六十一才	大厄	二十五年生
六十二才	後厄	二十四年生

### 厄年(女)

十八才	前厄	平成五年生
十九才	大厄	四年生
二十才	後厄	三年生
三十二才	前厄	昭和五十四年生
三十三才	大厄	五十三年生
三十四才	後厄	五十二年生
三十六才	前厄	五十一年生
三十七才	大厄	四十九年生
三十八才	後厄	四十八年生

◆厄年大祭 二月節分日